

地域	村山	団体名	天童市
----	----	-----	-----

活動地	天童市内
-----	------

団体紹介 本市では、森林の資源活用、森林環境の情報発信、循環型社会構築の啓発及び森林と市民の絆を結ぶ新たな森づくりをとおして、森林環境保全意識の醸成を図り、みどり豊かな天童市のまちづくりを推進している。

活動内容 <u>開催日：令和6年10月10日(木)</u> - 市内山口小学校緑の少年団の5、6年生が、水晶山をフィールドに地元団体の協力を得て、自然学習活動と学校林看板の更新設置作業を行った。また、津山小学校緑の少年団の6年生は、校庭内の桜の木を調査し、樹木医の講話を受けながら、選定した樹木に名板を設置した。樹木名板に記載した説明文章は団員が考えたもの。 <u>開催日：令和6年11月9日(土)</u> - 市内で開催された市農業まつりにて、木工体験教室を実施した。天童建設総合組合員の技術指導のもと、参加者が踏み台の製作体験を行った。用意した100人分の製作物は数時間でなくなるほどの大盛況ぶりだった。 <u>実施期間：令和6年5月～令和7年2月</u> - 市内中学生464人に県産木材(スギ間伐材)を提供し、技術家庭科の授業をとおして木材加工体験及び自然環境学習を実施した。木の持つ温もりに直接触れながら加工実習をするのと同時に、森林環境の保全について学習することにより、森林資源の利活用と森林保全意識の醸成を図ることができた。参加した生徒からはアンケート用紙に自由に感想等を書いてもらった。	 山口小緑の少年団の学校林看板設置作業  木工体験教室／製作体験の様子  中学生の木材加工体験
---	---

活動を行っての感想 緑の少年団自然学習は、各校が特色ある活動を展開し、緑を育む心の醸成を図ることができた。また、良好な森林環境を次世代へ継承するために、小中学生の世代を対象とした活動を行ったが、木工体験教室には広い世代にわたって参

加していただき、製作物に緑環境税普及啓発用シンボルマーク焼印を積極的に行うなどして楽しんでいただいた。森林環境保全意識の高揚を図るため、来年度以降も続けていきたい。